



# 棚倉町商工会 創立40周年記念式典

2000.10.14.Saturday pm12:30.  
ハーモリープラザさわ田

棚倉町商工会

# 式典次第

司会者  
式典運営委員長 鈴木 壮一

1. 開式のことば 式典実行副委員長 澤田 昌彦

2. あいさつ 式典実行委員長 遠藤 哲雄

3. 表彰状贈呈

4. 受賞者代表謝辞 大平 義明様

5. 来賓祝辞 柵倉町長 藤田 幸治様

柵倉町議会議長 鈴木 隆夫様

福島県商工会連合会長 有賀 一義様

6. 記念講演  
講師紹介者 式典総括委員長 吉田 勝英

演題 「転換期を勝ち抜く経営」

講師 近代経営研究所経営コンサルタント 根本 寛先生

7. 閉式のことば 式典実行副委員長 金澤 寛二

## 式典趣旨

商工会の組織等に関する法律(商工会法)施行40周年の記念すべき年を迎え、これまでの商工会活動を振り返り、新たな躍進と、発展を期する為に商工会関係者が一堂に会し、盛大に記念式典を開催するものであります。

顧みれば、昭和23年に設立した棚倉町振興会及び、近津商工会は、昭和35年商工会法が制定されたのを踏まえ、両会を発展的に解消し、昭和35年10月10日、「棚倉町商工会」として設立し、同年11月14日福島県から認可され、新たな姿で誕生したものであります。

以来、小規模事業者の経営改善普及事業の推進及び、地域振興発展のために、成果を上げて参りました。また、昭和37年5月27日、棚倉町商工会青年部を結成、更に昭和41年6月21日、同婦人部が結成され環境や福祉など、行動力を生かした事業を展開して参り、効果的推進と、組織強化に努め、今日に至ったものであります。

この間、顕著な消費の伸びと、旺盛な設備投資により景気は順調な拡大基調で推移し、良好な経済環境下でありました。

しかし、平成の時代を迎え、中東の問題から世界経済は大きく変化し、平成2年、我が国経済の基である株価が暴落、バブル経済として走り出し、今日における不透明な経済にまで発展、本町における中小企業はもとより、産業活動に大きな打撃を与えています。

特に、商工会の重要な柱である金融・税務・経理にも拍車をかけ衰退の一途をたどっております。

このような状況の中、あらためて地域経済団体としての使命を意識し、平成9年11月棚倉町カード事業組合を発足、更には、平成11年3月行政の支援のもとに協同組合棚倉町商工振興会を設立し、地域商工業の活性化に努めて参りました。

一方、政府においては、少子高齢化・環境問題等、21世紀を目前にした自立的な経済社会の再構築が示されたため、すでに策定している棚倉町商業活性化基本計画を踏まえ、今年度、中心市街地商業活性化事業に着手したものであります。

このことは、商店街の体質強化と、経営改善はもとより商店街の再生に極めて効果的であり、当町の商工業進展に結びつくものと確信するものであります。

本日ここに、棚倉町商工会創立40周年の記念すべき年に当たり、会員577名と青年部員、女性部員の総意と総力を結集し、決意も新たに中小企業の発展と棚倉町商工会の一層の充実を図ろうとするものであります。

## 表彰者名簿

■退任役員	30年以上	藤田嘉平二殿
■退任役員	15年以上	大平義明殿 鵜沼國幸殿
■退任役員	10年以上	藤田榮一殿
■退任歴代青年部長		小河原康広殿 須藤真一殿 大相守殿 近藤弘殿
■退任歴代女性部長		原光子殿
■退職事務局長		佐藤周平殿 根岸健二殿
■在職職員	30年以上	遠藤靖男
	20年以上	芳賀宏美 角田利江 須藤和子 鈴木洋子

# 演 題 「転換期を勝ち抜く経営」

講師プロフィール (平成12年3月1日現在)

根 本 寛 (ねもとひろし)

1. 生年月日 昭和15年2月11日
2. 出身地 神奈川県川崎市
3. 現住所 神奈川県横浜市青葉藤が丘2-2-1-702
4. 最終学歴 昭和33年3月川崎市立川崎高等学校卒業
5. 勤務先 近代経営研究所代表
6. 資格 通産大臣登録 中小企業診断士
7. 活動状況 (1)民間企業6社の顧問としてコンサルティング活動  
(2)神奈川県商工労働センター非常勤診断員として活動  
(3)神奈川県商工会連合会のエキスパートとして活動  
(4)全国商工会議所、中小企業団体連合会での講演12回  
(5)長野県商工会連合会、小売事業活動化事業
8. 職歴役職 昭和33年4月 朝日物産株式会社入社  
昭和43年3月 同社を退職  
昭和57年4月 近代経営研究所設立、代表就任
9. 専門分野 △経営戦略、マーケティング、組織、人事、社員教育  
△小売業、卸売業、サービス業
10. 主な業務歴 (1)昭和57年～60年 東京ゼネラルコンサルティング(株)  
にて業務全般のほか、TQC指導を担当  
(2)昭和57年～61年 ソード(株)の委嘱を受けパソコンに  
よる経営管理指導  
(3)昭和59年～平成11年 全国商工会議所、長野県商工会  
連合会等々、経営管理指導及び講演活動
11. 講演テーマ 「転換期を勝ち抜く経営」他
12. 著述等 昭和58年「簡易言語50の常識」他
13. 加入団体 (社)中小企業診断協会 東京支部他

= MENO =

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

棚倉町商工会

# 40年のあゆみ

1960~2000

## 目 次

1. ご あ い さ つ 棚倉町商工会長遠藤哲雄	1
2. 祝 辞 棚倉町長藤田幸治	2
3. 祝 辞 福島県商工会連合会長有賀一義	3
4. 会員数の推移	4
5. 経営改善普及事業の概要	4
6. 年度別金融斡旋件数 及び斡旋金額状況	4
7. 年度別財政の推移	4
8. 年度別一般事業の概要	5
9. 歴代役員一覧表	7
10. 在職職員一覧表	9
11. 記念式典実行委員会	10

## ごあいさつ



棚倉町商工会長 遠藤 哲雄

棚倉町商工会創立40周年にあたりご挨拶申し上げます。

昭和35年商工会法が制定されて以来、全国2800余の商工会がくしくも2000年最後の今年創立40年を迎えることとなります。

秋さわやかな本日棚倉町長藤田幸治様、棚倉町議会議長鈴木隆夫様をはじめ多数の来賓の方々のご臨席を賜り、ここに盛大に式典を開催出来ますことを会員とともに大きな喜びとするところであります。

商工会法制定と同時に会設立に向け発意し、県内6番目に棚倉町商工会を組織された進取の気風は、大きな財産として21世紀にうけつがなければなりません。あらためて先人諸氏に対し、敬意のおもいを強くするものであります。更に昭和59年現在地に会館を建設し会員への情報発信基地として、充分にその機能を果たしていると確信致しております。創立以来今日まで地域経済の中心的な組織として、町発展の一翼を担って参りました。

そして今、少子高齢化、消費低迷、中心商業施設の空洞化の進む中、英知と情熱をもって行政と一体となり中心市街地商業活性化の事業を進め、賑わいのある町並みを次世代にバトンタッチすることが我々に課せられた責務であります。

また、あらゆる分野でリストラが進む中、町ご当局から消費低迷を憂慮され、商品券発行のご提案を頂き、法人格をもつ協同組合棚倉町商工振興会を設立し、消費の流出を最小限にとどめるべくプレミアム助成を頂きました。行政の商工業者へのご支援、ご配慮を深く記憶にとどめ、町との連携を更に強固なものとし、町発展に寄与しなければなりません。

さて、我が国経済はオイルショック以来、平成に入りバブル経済の崩壊と経済の枠組み、価値観の変革などその大きなうねりに翻弄され、90年代に入り開業率を廃業率が上回るというかつて経験のない状況の中、我々には会員の組織率増強を計り、職員の資質を高め、代行型のサービスから、広域を視野に入れたサービスを構築して行くことが求められております。

今日、中・小商工業界は多様性のあるインキュベーター、つまり苗床であり、ふ卵器であり、ベンチャービジネスの可能性を、限りなく秘めていると位置づけられております。それは通信情報技術、ITの急速な発展とパーソナルコンピューターの驚くべき普及がベースにあります。中・小を大にすることを経営指導の柱としてとらえてまいりましたが、小であるが故に、大に対等出来る所謂イコールパートナーシップの時代であります。

こうした時代の背景を踏まえ商工会とは、創立時の原点に帰り会員に求められているのは何かを問い、町との連携を更に強め商工業発展のため、町発展のため事業を進めて参ります。関係機関の更なるご支援をお願い申し上げ、本日もご参会の皆様、そして会員の益々の発展を、心から祈念申し上げます、挨拶といたします。

## 祝 辞



棚倉町長 藤 田 幸 治

このたび、棚倉町商工会創立40周年を迎えるにあたり、一言お祝いのことばを申し上げます。

かえりみますと、棚倉町商工会は、昭和35年10月に町内商工業の先覚者の皆様によって、地域商工業の総合的発展をはかるため創設されました。

以来今日まで、40年の長きにわたり、幾多の経済界の変遷に対処し、数々の苦難に遭遇しながらも、常に商工業者の指導育成のため活動を続けられ、着実に地域経済の振興に取り組み、順調に成長発展してこられました。また、昭和59年には、会員待望の立派な会館も完成されましたが、申し上げるまでもなくこれらの業績は、歴代会長さんをはじめ、役職員一同のたゆまざる努力の賜ものであり、多年にわたるご苦勞に対し衷心より感謝と敬意を表するものであります。

さて、今日の社会経済情勢は、新しい時代への転換期にさしかかっており、IT革命や国際化、高度情報化、技術革新、少子・高齢化などの波が大きく押し寄せております。また、企業の生産活動や設備投資に持ち直しの動きがみられるものの、個人消費が低調に推移し雇用情勢も依然厳しい状況にあるなど、とりわけ、中小企業にとっては、引き続き厳しい状況が予想されます。

こうした中、昨年12月、国において中小企業基本法の改正が行われ、法の基本理念を従来の「企業間の諸格差是正」から「多様で活力ある中小企業の成長発展」へと大きく方向転換させたのはじめ、本年6月には大規模小売店舗立地法が施行されるなど、社会経済の急激な環境変化に伴い、商工業を取り巻く制度や諸施策が大きな転換期を迎えております。

このような状況を踏まえ、町といたしましても、今年、中心市街地活性化基本計画策定に取り組み、中心市街地の活性化を図るため、創意工夫を活かしながら市街地の整備改善、商業等の活性化を柱とする対策を推進してまいりたいと考えております。私どもといたしましても、今後とも、より一層お互いの連携を密にし、積極的な商工業行政を推進してまいりますので、会長をはじめ会員の皆様方の、町政全般にわたるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、創立40周年を契機として、棚倉町商工会の限りなきご発展と皆様方の益々のご活躍をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



## 祝 辞



福島県商工会連合会長 有賀一義

棚倉町商工会が創立40周年を迎えられましたことに対し、心よりお祝いを申し上げます。

ご承知のとおり商工会組織の模範であります「商工会の組織等に関する法律」いわゆる「商工会法」は、昭和35年に施行され、これはわが国の中小企業対策にとっては誠に画期的なことであり、とりわけ小規模事業者の経営改善普及事業が法的な裏付けをもって実施されることになったということは、それまで個々ばらばらの形で存在し、日の当たらなかつた小規模事業者を一つのまとまりとしてとらえ、それが日本経済の発展にとって、不可欠な存在であると位置づけたことになり、私どもはその意義の存在の大きさを今さらながら再認識せざるを得ないのであります。

こうした中で本県においても昭和35年より各市町村に次々と商工会が創立されましたが、貴商工会は昭和35年10月に創立以来今日まで40年間、会員皆様の御努力により、小規模事業者に対する経営指導を通じて地域社会の発展に多大な成果を挙げてこられました。

特に昭和58年の商工会館落成を契機として、会員の皆様の団結は一段と強まり、商工会活動を積極的に展開し、地域経済活性化のために大きな信頼を得ておりますことは衆目の一致するところであります。

さて、法施行以来40余年を経過した現在、日本経済は大きな変転を遂げ、小規模事業者をめぐる環境は、複雑かつ多様化の様相を強めていることは皆様御認識のとおりであります。

こうしたことを踏まえ、福島県商工会連合会では地域商工業の振興発展と会員事業所の経営基盤の強化を図るため、創業支援事業をはじめ金融の斡旋、経営・技術強化支援事業等の個別指導事業のほか、4R運動推進事業、むらおこし事業、街おこし事業、CI事業等の地域活性化の事業を推進しているところであります。

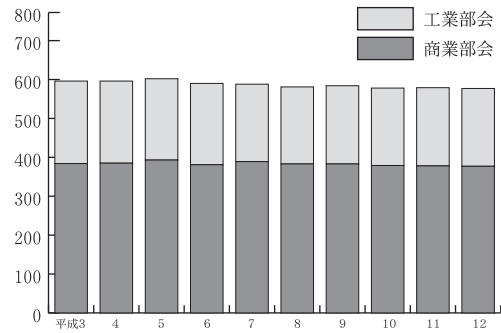
創立40周年を迎えられた貴商工会におかれましても、こうした情勢を的確にとらえ、役職員一丸となって、地域経済活性化のためになお一層のご精進を賜らんことを祈念し、お祝いの言葉といたします。

## ■最近10年の現況

### ◎会員数の推移

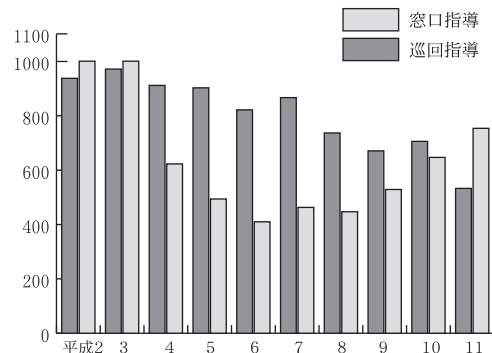
単位:人

年度別	会員数	商業部会	工業部会
平成3年	588	384	212
平成4年	588	385	211
平成5年	593	393	209
平成6年	590	381	209
平成7年	588	389	199
平成8年	581	383	198
平成9年	584	383	201
平成10年	578	379	199
平成11年	579	378	201
平成12年	577	377	200



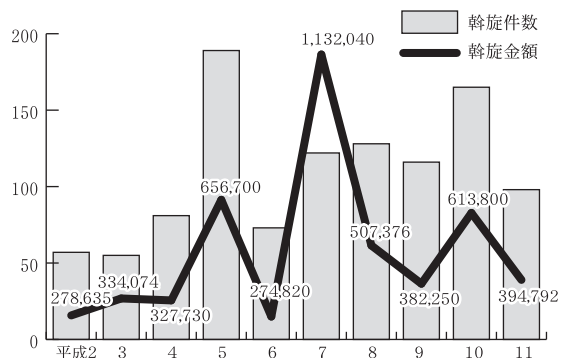
### ◎経営改善普及事業の概況

年度別	巡回	窓口
平成2年	938	1,001
平成3年	972	1,001
平成4年	912	623
平成5年	904	494
平成6年	822	410
平成7年	867	463
平成8年	737	447
平成9年	671	529
平成10年	706	647
平成11年	533	754



### ◎年度別金融斡旋件数・斡旋金額状況

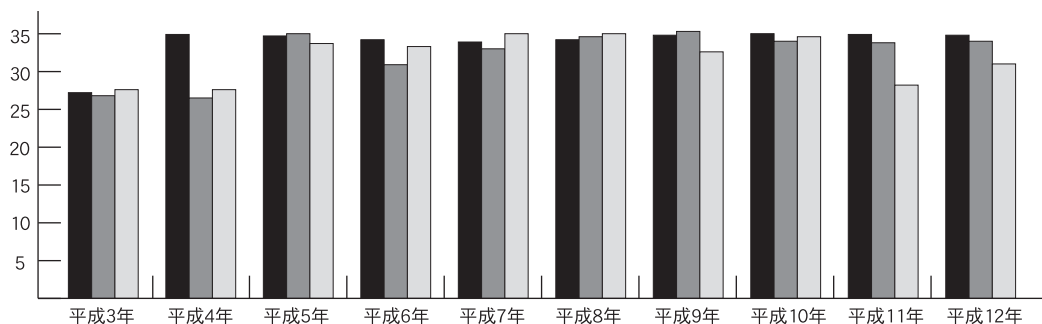
年度別	回数	金額(千円)
平成2年	57	278,635
平成3年	55	334,074
平成4年	81	327,730
平成5年	189	656,700
平成6年	73	274,820
平成7年	122	1,132,040
平成8年	128	507,376
平成9年	116	382,250
平成10年	165	613,800
平成11年	98	394,792



### ◎年度別財政の推移(収入)

年度	会費	国・県補助金	市町村補助金	手数料	その他	計
平成3年	7,290,000	25,216,000	7,770,000	4,278,945	16,979,819	61,534,764
平成4年	9,362,250	25,099,000	7,770,000	4,832,619	18,767,921	65,831,790
平成5年	9,323,250	32,950,000	9,470,000	4,998,720	18,972,202	75,714,172
平成6年	9,196,500	29,150,000	9,370,000	4,649,368	19,150,232	71,516,100
平成7年	9,117,750	31,138,000	9,820,000	4,383,209	21,378,939	75,837,898
平成8年	9,215,750	32,600,000	9,820,000	4,441,705	29,980,683	86,508,138
平成9年	9,359,250	33,245,000	9,170,000	4,705,811	13,788,907	70,268,968
平成10年	9,380,250	32,006,000	9,720,000	4,829,385	18,238,791	74,174,426
平成11年	9,366,500	31,867,000	7,920,000	4,701,500	9,181,758	63,036,758
平成12年	9,350,000	32,000,000	8,720,000	4,700,000	13,108,402	67,878,402

会費  
 国・県補助金  
 市町村補助金



## 年度別一般事業の概要

	昭和35年度(1960)		昭和42年(1967)	5.22	第15回通常総会
10.15	棚倉町商工会設立総会	5.27	第7回通常総会	10.13	移動商工会の実施
11.14	棚倉町商工会設立認可	7.16	自転車ロードレース		
1.24	年末年始連合売出し こまどり姉妹	10.28	金融懇談会		昭和51年度(1976)
	昭和36年度(1961)	3.3	年末連合売出し 井沢扇	6.19~21	商店街交通料調査
5.27	第1回通常総会		昭和43年度(1968)	8.5~7	商店街診断
8.17~18	七夕行事	5.16	第8回通常総会	3.21	年末連合売出し 山口百恵
10.18	商工会報第1号発行	9.13	臨時総会(商工会館建設)		昭和52年度(1977)
3.3	年末年始連合売出し 三橋美智也	10.9	秋まつり・中元売出し ミス発表会	7.21	就職予定者工場見学会
	昭和37年度(1962)		昭和44年度(1969)	9.20	工業クラブ事例研究会
5.25	第2回通常総会	4.25	事務所を旧森林組合跡 に移転	11.29	商店街事後指導会
5.27	棚倉町商工会青年部結成	5.30	第9回通常総会		昭和53年度(1978)
7.15	第1回珠算検定	6.26	臨時総会	9.4	中高生地元工場見学会
10.3	総代総会		昭和45年度(1970)	10.30	商工会福島県大会(棚倉 町体育館)
	昭和38年度(1963)		昭和46年度(1971)	2.4	年末連合売出し ピンクレディー
5.20	第3回通常総会	4.19	花まつり		昭和54年度(1979)
8.8	中元連合売出し		素人演芸及び剣道大会	7.4	建設業代表者会議
2.22	島山みどり 年末年始連合売出し 橋 幸夫	5.24	第10回通常総会	10.25	八溝山頂標識建立
	昭和39年度(1964)	8.7	花火大会	11.28	地域問題に関する懇談会
5.11	第4回通常総会	3.5	設立10周年式典		
8.30	中元連合売出し 北島三郎		昭和47年度(1972)		昭和55年度(1980)
1.17	年末年始連合売出し 大木信夫	5.18	第11回通常総会	4.11	消費者懇談会
	昭和40年度(1965)	5.24	年末連合売出し 藤 圭子	5.10	ジャスコ出店説明会
4.25	花まつり全国アマチュア 自転車競技会	10.2	中元売出し ちあきなおみ	5.30	棚倉町商業活動調整協 議会設立
5.20	第5回通常総会	12.9	昭和48年度(1973)	7.21	ヨークベニマル出店説明会
8.30	中元連合売出し 都はるみ		新規地元就職者を 励ます会	10.22	設立20周年親善ゴルフ大会
11.13	産業文化祭協賛	4.24	第12回通常総会	11.13	設立20周年記念式典
3.21	年末連合売出し 西郷輝彦	5.21	雇用促進座談会	2.1	郷ひろみ歌謡ショー
	昭和41年度(1966)	2.24	消費者懇談会	3.16	ガイドブック棚倉町の 企業の作成
5.12	第6回通常総会		昭和49年度(1974)		昭和56年度(1981)
6.21	棚倉町商工会婦人部結成		第13回通常総会	7.10	来春就職希望者工場見学
8.18	中元連合売出し 三田 明	5.10	年末年始連合売出し 歌謡招待	7.27	金融懇談会
10.16	商工会運動会(城跡)	6.15	昭和50年度(1975)	11.13	地域問題懇談会
2.19	年末連合売出し 島 和彦	1.18	第14回通常総会		昭和57年度(1982)
2.24	労災保険事務組合 設立認可申請	5.7	商業モニター会議	4.24	大型店業種代表者会議
			事業主経済懇談会	6.24	事務所移転(旧合同庁舎)
			昭和51年度(1976)	1.20	地域問題啓発活動講演会
			第15回通常総会		昭和58年度(1983)
			移動商工会の実施	7.30	商工会館建設地鎮祭
			昭和52年度(1977)	10.14	商工会館上棟式
			商店街交通料調査	1.20	新商工会館へ移転
			商店街診断	2.14	商工会館落成祝賀会
			年末連合売出し 山口百恵		
			昭和53年度(1978)		
			中高生地元工場見学会		
			商工会福島県大会(棚倉 町体育館)		
			年末連合売出し ピンクレディー		
			昭和54年度(1979)		
			建設業代表者会議		
			八溝山頂標識建立		
			地域問題に関する懇談会		
			昭和55年度(1980)		
			消費者懇談会		
			ジャスコ出店説明会		
			棚倉町商業活動調整協 議会設立		
			ヨークベニマル出店説明会		
			設立20周年親善ゴルフ大会		
			設立20周年記念式典		
			郷ひろみ歌謡ショー		
			ガイドブック棚倉町の 企業の作成		
			昭和56年度(1981)		
			来春就職希望者工場見学		
			金融懇談会		
			地域問題懇談会		
			昭和57年度(1982)		
			大型店業種代表者会議		
			事務所移転(旧合同庁舎)		
			地域問題啓発活動講演会		
			昭和58年度(1983)		
			商工会館建設地鎮祭		
			商工会館上棟式		
			新商工会館へ移転		
			商工会館落成祝賀会		

	昭和59年度(1984)	7.5	地元高校との懇談会	10.27	北緯37度フェスティバル
5.14	大型店対策協議会役員会	10.16	警察署との懇談会	11.22	金融懇談会
11.9	地域問題懇談会	11.26	大店法の改正説明会	1.30	結婚アドバイザー会議
3.27	金融懇談会	12.11	商業調整協議会		
		1.13	新春懇談会		平成9年度(1997)
	昭和60年度(1985)	3.9	商店診断街おこし事業	4.29	クリテリウム棚倉大会
4.10	商調協委員勉強会			6.13	中小商業活性化連絡協議会
5.21	第25回通常総会		平成4年度(1992)	9.22	カード化事業委員会
6.21	パソコン・ワープロ基礎講習会	4.23	第20回地元就職者を励ます会	10.26	北緯37度 in フェスティバル
11.2	街路灯落成祝賀会	6.11	白色申告者記帳説明会	11.30	ポイントカードオープニング大会
11.22	啓発活動後援会	7.2	中小小売商業活性化推進協議会	1.23	新春懇談会
		8.14	夏まつり歩行者天国		平成10年度(1998)
8.8	高校生との懇談会	9.17	浅川町商工会役員との交歓会	4.19	ミス桜の女王発表会
9.13	商工貯蓄委員会	10.12	東北電力地域懇談会	6.12	新旧役員懇談会
9.17	八溝山頂模識建立	12.1	郡内大型店研修会	10.1	小規模振興委員会
1.14	記帳機械化研修会	1.18	ライオンドー出店説明会	11.17	金融懇談会
				12.18	協同組合設立発起人会
	昭和61年度(1986)		平成5年度(1993)	3.24	協同組合創立総会
8.8	高校生との懇談会	4.29	第40回クリテリウム棚倉大会		平成11年度(1999)
9.13	商工貯蓄委員会	7.16	大型店意見集約会議	4.8	花まつりボンポリ点灯式
9.17	八溝山頂模識建立	8.14	第45回棚倉夏まつり	6.24	まつり検討委員会
1.14	記帳機械化研修会	10.25	広域経営事業専門委員会	7.16	金融特別相談日
		11.11	小規模振興委員会	8.14	棚倉大好き夏まつり
	昭和62年度(1987)	12.16	小規模ビジョン策定委員会	9.21	企業との懇談会
10.21	金融公庫特別相談日	3.29	商工会館記念碑除幕式	10.14	CI事業実行委員会
12.15	地域問題懇談会			1.27	新春懇談会
3.25	金融懇談会		平成6年度(1994)		平成12年度(2000)
		4.29	第5回クリテリウム棚倉大会	4.16	棚倉六万石亀ヶ城まつり
	昭和63年度(1988)	7.25	経営者懇話会講演会	5.23	第40回通常総代会
4.19	ライオン堂出店説明会	9.14	浅川町商工会との懇談会	6.9	インターネット活用情報交流事業委員会
5.26	中型店出店調整小売業者会議	11.1	一日金融公庫	7.18	金融相談日
10.18	冷害対策資金打合せ会	1.18	新春懇談会	8.23	コンセンサス形成事業専門委員会
3.24	ルネサンス棚倉施設説明会	3.15	大型店出店通産局との打合せ	9.22	企業懇談会
				10.14	設立40周年記念式典
	平成元年度(1989)	4.29	第5回クリテリウム棚倉大会		
8.22	消費税講演会	7.25	経営者懇話会講演会		
9.22	棚倉町商店会連合会設立総会	9.14	浅川町商工会との懇談会		
2.20	商業振興後継者会議	11.1	一日金融公庫		
		1.18	新春懇談会		
	平成2年度(1990)	3.15	大型店出店通産局との打合せ		
4.20	ルネサンス棚倉オープン				
5.22	第30回通常総代会		平成7年度(1995)		
5.28	金融団との懇談会	5.21	第35回通常総代会		
7.8	第85回珠算検定	6.11	第100回珠算検定		
11.15	設立30周年記念式典	7.11	顧問相談役懇談会		
12.7	商工振興会懇談会	11.3	町文化センター落成式		
1.26	町長を囲む新春懇談会	12.13	流通問題研究会視察		
2.20	パソコン研修会	3.11	小規模振興委員会		
3.18	ライフ、プランナー養成研修会				
		4.21	平成8年度(1996)		
	平成3年度(1991)	6.4	クリテリウム棚倉大会		
5.22	第19回棚倉町新規就職者を励ます会	7.24	町企画商工課地域振興課会議		
6.27	労働時間研究会	8.14	夏まつり歩行者天国		



		平成3年度 1991	平成4年度 1992	平成5年度 1993	平成6年度 1994	平成7年度 1995	平成8年度 1996	平成9年度 1997	平成10年度 1998	平成11年度 1999	平成12年度 2000
会 長 副 会 長 理 事 "	藤田嘉平二	藤田嘉平二	藤田嘉平二	藤田嘉平二	藤田嘉平二	藤田嘉平二	藤田嘉平二	藤田嘉平二	遠澤金吉	遠澤金吉	遠澤金吉
	大平義明	大平義明	大平義明	大平義明	大平義明	大平義明	大平義明	大平義明	藤田澤田	藤田澤田	藤田澤田
	藤沼國幸	藤沼國幸	藤沼國幸	藤沼國幸	藤沼國幸	藤沼國幸	藤沼國幸	藤沼國幸	哲昌寬勝	哲昌寬勝	哲昌寬勝
	富沢川崇	富沢川崇	富沢川崇	富沢川崇	富沢川崇	富沢川崇	富沢川崇	富沢川崇	雄彦二英夫	雄彦二英夫	雄彦二英夫
	吉田勝博	吉田勝博	吉田勝博	吉田勝博	吉田勝博	吉田勝博	吉田勝博	吉田勝博	遠澤金吉	遠澤金吉	遠澤金吉
	澤田昌彦	澤田昌彦	澤田昌彦	澤田昌彦	澤田昌彦	澤田昌彦	澤田昌彦	澤田昌彦	遠澤金吉	遠澤金吉	遠澤金吉
	鈴木春市	鈴木春市	鈴木春市	鈴木春市	鈴木春市	鈴木春市	鈴木春市	鈴木春市	遠澤金吉	遠澤金吉	遠澤金吉
	吉田昭喜	吉田昭喜	吉田昭喜	吉田昭喜	吉田昭喜	吉田昭喜	吉田昭喜	吉田昭喜	遠澤金吉	遠澤金吉	遠澤金吉
	田村富光	田村富光	田村富光	田村富光	田村富光	田村富光	田村富光	田村富光	遠澤金吉	遠澤金吉	遠澤金吉
	大塚文平	大塚文平	大塚文平	大塚文平	大塚文平	大塚文平	大塚文平	大塚文平	遠澤金吉	遠澤金吉	遠澤金吉
	中藤榮一	中藤榮一	中藤榮一	中藤榮一	中藤榮一	中藤榮一	中藤榮一	中藤榮一	遠澤金吉	遠澤金吉	遠澤金吉
	藤田喜正	藤田喜正	藤田喜正	藤田喜正	藤田喜正	藤田喜正	藤田喜正	藤田喜正	遠澤金吉	遠澤金吉	遠澤金吉
	吉田健四	吉田健四	吉田健四	吉田健四	吉田健四	吉田健四	吉田健四	吉田健四	遠澤金吉	遠澤金吉	遠澤金吉
	仁平武男	仁平武男	仁平武男	仁平武男	仁平武男	仁平武男	仁平武男	仁平武男	遠澤金吉	遠澤金吉	遠澤金吉
	小針武憲	小針武憲	小針武憲	小針武憲	小針武憲	小針武憲	小針武憲	小針武憲	遠澤金吉	遠澤金吉	遠澤金吉
	小川隆一郎	小川隆一郎	小川隆一郎	小川隆一郎	小川隆一郎	小川隆一郎	小川隆一郎	小川隆一郎	遠澤金吉	遠澤金吉	遠澤金吉
	小浜英昭	小浜英昭	小浜英昭	小浜英昭	小浜英昭	小浜英昭	小浜英昭	小浜英昭	遠澤金吉	遠澤金吉	遠澤金吉
佐藤寛磐	佐藤寛磐	佐藤寛磐	佐藤寛磐	佐藤寛磐	佐藤寛磐	佐藤寛磐	佐藤寛磐	遠澤金吉	遠澤金吉	遠澤金吉	
金山利八	金山利八	金山利八	金山利八	金山利八	金山利八	金山利八	金山利八	遠澤金吉	遠澤金吉	遠澤金吉	
佐藤英雄	佐藤英雄	佐藤英雄	佐藤英雄	佐藤英雄	佐藤英雄	佐藤英雄	佐藤英雄	遠澤金吉	遠澤金吉	遠澤金吉	
佐川信太郎	佐川信太郎	佐川信太郎	佐川信太郎	佐川信太郎	佐川信太郎	佐川信太郎	佐川信太郎	遠澤金吉	遠澤金吉	遠澤金吉	
高須藤川	高須藤川	高須藤川	高須藤川	高須藤川	高須藤川	高須藤川	高須藤川	遠澤金吉	遠澤金吉	遠澤金吉	
須藤川愛	須藤川愛	須藤川愛	須藤川愛	須藤川愛	須藤川愛	須藤川愛	須藤川愛	遠澤金吉	遠澤金吉	遠澤金吉	
監 事	佐川信太郎	佐川信太郎	佐川信太郎	佐川信太郎	佐川信太郎	佐川信太郎	佐川信太郎	佐川信太郎	遠澤金吉	遠澤金吉	遠澤金吉
青年部長	高須藤川	高須藤川	高須藤川	高須藤川	高須藤川	高須藤川	高須藤川	高須藤川	遠澤金吉	遠澤金吉	遠澤金吉
婦人部長	須藤川愛	須藤川愛	須藤川愛	須藤川愛	須藤川愛	須藤川愛	須藤川愛	須藤川愛	遠澤金吉	遠澤金吉	遠澤金吉



## 在職職員一覽表

年度 職名	昭和35年度 1960	昭和40年度 1965	昭和45年度 1970	昭和50年度 1975	昭和55年度 1980	昭和60年度 1985	昭和62年度 1987	昭和63年度 1988	平成元年度 1989	平成2年度 1990
事務局長	大峰 巖			武地弘司	蛭田 守	蛭田 守	蛭田 守 (62.3.31退職) 山内一彦 (62.8.1より)	山内一彦	山内一彦	山内一彦 (H2.3.31町復帰) 佐藤周平 (H2.4.1採用)
経営指導員	大峰 巖	大峰 巖	小野里保男	小野里保男 中島修三	武地弘司 小針敏憲	梅沢元善 小針敏憲	白石光一 (62.7.1より) 小針敏憲	白石光一 小針敏憲	白石光一 小針敏憲	白石光一 小針敏憲
補助員	田部井俊子		田部井俊子	松本シヅエ	松本シヅエ	松本シヅエ	松本シヅエ	松本シヅエ	松本シヅエ	松本シヅエ
記帳専任職員	甲賀謙寿			向井正代 須藤和子	須藤和子	向井正 鈴木洋子	須藤和子 鈴木洋子	須藤和子 鈴木洋子	須藤和子 鈴木洋子	須藤和子 鈴木洋子
記帳指導職員					向井正 寺島洋子					
記帳指導員	小林正四									
一般職員	佐藤愛子	星野美雄 鳥居塚征子	星野美雄 中川西恵子			須藤和子	市川浩昭 (62.8.1採用)	市川浩昭	市川浩昭	市川浩昭

年度 職名	平成3年度 1991	平成4年度 1992	平成5年度 1993	平成6年度 1994	平成7年度 1995	平成8年度 1996	平成9年度 1997	平成10年度 1998	平成11年度 1999	平成12年度 2000
事務局長	佐藤周平	佐藤周平 (H4.8.31退職)	根岸健二 (H5.4.1採用)	根岸健二	根岸健二	根岸健二	根岸健二	根岸健二	根岸健二 (H11.3.31退職) 山口昂太郎 (H11.4.1より)	山口昂太郎
経営指導員	遠藤靖男 (H3.7.1より) 白石光一	遠藤靖男 白石光一	遠藤靖男 白石光一	遠藤靖男 白石光一	遠藤靖男 白石光一	遠藤靖男 白石光一	遠藤靖男 白石光一	遠藤靖男 芳賀宏美 (H10.4.1より)	遠藤靖男 芳賀宏美	遠藤靖男 芳賀宏美
補助員	松本シヅエ	松本シヅエ	松本シヅエ	松本シヅエ	松本シヅエ	松本シヅエ	松本シヅエ	松本シヅエ	角田利江 (H11.7.1より)	角田利江
記帳専任職員	須藤和子 鈴木洋子	須藤和子 鈴木洋子	須藤和子 鈴木洋子	須藤和子 鈴木洋子	須藤和子 鈴木洋子	須藤和子 鈴木洋子	須藤和子 鈴木洋子	須藤和子 鈴木洋子	須藤和子 鈴木洋子	須藤和子 鈴木洋子
一般職員	市川浩昭	市川浩昭	市川浩昭	市川浩昭	市川浩昭 青柳孝 (H7.6.30退職) 青柳孝 (H7.11.1より)	青柳孝	青柳孝	青柳孝	青柳孝	青柳孝

# 棚倉町商工会創立40周年記念式典 実行委員会

委員長	棚倉町商工会長	遠澤	藤田	哲昌	雄彦
副委員長	棚倉町商工会副会長	澤金	田澤	寬勝	二英
副委員長	棚倉町商工会副会長	吉鈴	田木	壯文	一夫
総括委員長	棚倉町商工会総務理事	鈴石	木田	文哲	二功
運営委員長	棚倉町商工会観光交通委員長	和大	田沼	勇光	一俊
運営副委員長	棚倉町商工会工業委員長	武佐	川木	愛英	子夫
運営副委員長	棚倉町商工会金融税務委員長	鈴近	藤谷	善広	一司
運営副委員長	棚倉町商工会商業委員長	蘂近	藤内	史一	崇彦
運営副委員長	棚倉町商工会労務委員長	近湯	座岡	一行	平男
委員	棚倉町商工会企画調査委員長	富小	岡倉	栄輝	市雄
〃	棚倉町商工会理事	菊増	地子	勲忠	男雄
〃	棚倉町商工会理事	近高	藤橋	直恭	哉宏
〃	棚倉町商工会理事	須大	藤野	清正	市一
〃	棚倉町商工会理事	角陣	田野	修光	一夫
〃	棚倉町商工会理事	藤後	田藤	眞真	守一
〃	棚倉町商工会理事	須広	藤瀬	敏勝	一忍
〃	棚倉町商工会理事	渡面	辺川	智一	雄良
〃	棚倉町商工会監事	藤鈴	田木	美枝	之彦
〃	棚倉町商工会青年部副部長	吉宗	田田	理子	子子
〃	棚倉町商工会青年部副部長				
〃	棚倉町商工会女性部副部長				
〃	棚倉町商工会女性部副部長				





## 棚倉町商工会

〒963-6123 福島県東白川郡棚倉町大字関口字上志宝2-3  
TEL 0247-33-3161(代) FAX0247-33-3162  
E-mail;tanasho@coral.ocn.ne.jp